

米国 NY連銀管轄地区の製造業部門の減速を示唆
 (07年4月NY連銀製造業景気指数)
 発表日：2007年4月16日(月)
 ～緩やかに減速中～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/07	14.11	19.06	16.83	7.06	-10.66	1.64	-1.64	44.26	14.75	13.93
06/08	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/09	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/10	21.19	12.94	22.91	20.06	2.50	-5.00	-3.33	30.83	17.50	14.17
06/11	25.00	21.10	26.96	23.85	3.77	4.72	0.00	34.90	16.98	10.38
06/12	22.19	22.52	27.60	18.60	-7.87	1.12	-14.61	28.09	13.48	7.87
07/01	9.13	10.26	16.11	6.91	-19.15	-5.32	-8.51	35.11	19.15	-1.06
07/02	24.35	18.93	27.07	12.70	-7.53	-3.23	0.00	26.88	12.90	5.38
07/03	1.85	3.14	18.54	11.37	-4.65	-4.65	-8.14	30.23	10.47	12.79
07/04	3.80	3.94	8.66	5.42	7.14	1.19	-8.33	40.48	7.14	1.19

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/07	42.55	42.94	41.98	18.74	-11.93	-1.83	5.76	60.55	41.15	7.40	22.02
06/08	37.31	37.39	37.24	20.75	-2.46	-9.02	-0.33	54.92	39.52	6.51	26.23
06/09	35.89	40.40	42.73	19.58	-9.00	-9.00	3.33	52.00	32.88	8.12	36.00
06/10	32.20	35.45	33.37	24.94	-1.68	-4.20	8.54	39.50	23.04	10.29	30.25
06/11	36.75	40.25	43.55	22.38	-4.72	-2.83	11.69	45.28	24.43	8.31	31.13
06/12	41.85	44.62	40.73	30.37	13.48	3.37	9.23	47.19	25.44	11.66	39.33
07/01	32.54	34.14	28.47	31.12	2.13	-1.06	-8.50	45.74	22.39	12.39	31.91
07/02	38.49	36.95	42.16	29.54	6.45	6.45	17.52	37.63	27.62	16.02	31.18
07/03	35.17	39.28	45.44	24.91	-3.49	6.98	2.52	45.35	34.77	3.95	32.56
07/04	33.85	35.19	38.00	22.11	0.00	2.38	0.49	42.86	17.77	12.98	27.38

前月比1.95ポイント上昇

2007年4月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は+3.8と前月から1.95ポイント上昇し、市場予想の7.5を下回った。出荷、雇用がプラス幅を縮小した一方、新規受注がプラス幅を拡大し、入荷遅延、在庫がプラスに転じた。この統計は月次での変動が大きいため3ヵ月移動平均でみる必要があり、それでは総合、新規受注ともに緩やかに水準が切り下がっている。このため、同地区製造業部門は3月にかけて緩やかに減速していると判断される。

NY連銀製造業景気指数の推移



NY連銀製造業新規受注DIの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。

4月の同地区生産の拡大ペース鈍化が見込まれる

生産関連では、出荷が+8.66（前月+18.54）とプラス幅を縮小し在庫指数は+7.14（同▲4.65）とプラスに転じた。一方、新規受注指数が+3.94（同+3.14）と上昇したがプラス幅が小さいことから、NY連銀管轄地区の生産活動拡大ペース鈍化が示唆されている。

雇用関連では、雇用指数が+5.42（同+11.37）、週平均就業時間が低下していることから、4月の同地区製造業雇用は増加ペースが鈍化するとみられる。

企業収益では、仕入れ価格が+40.48（前月+30.23）とプラス幅が拡大した。一方で、販売価格のプラス幅が低下したため、交易条件は悪化しており引き続き企業のコスト削減圧力の強い状態が持続していると判断される。

先行きの景気に対して楽観的

6ヵ月先予測では、総合指数は前月から小幅したが高い水準を維持しており先行きに対して楽観的な見方を維持している。

生産では新規受注の「増加を見込んでいる割合」、出荷の「増加を見込んでいる割合」、受注残の「増加を見込んでいる割合」が低下していることから、今後生産の拡大ペースが鈍化することが予想されている。

収益面では、「仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合」が小幅低下にとどまった一方、「販売価格の上昇を見込む割合」が大幅に低下したことから先行き交易条件の悪化が予想されている。

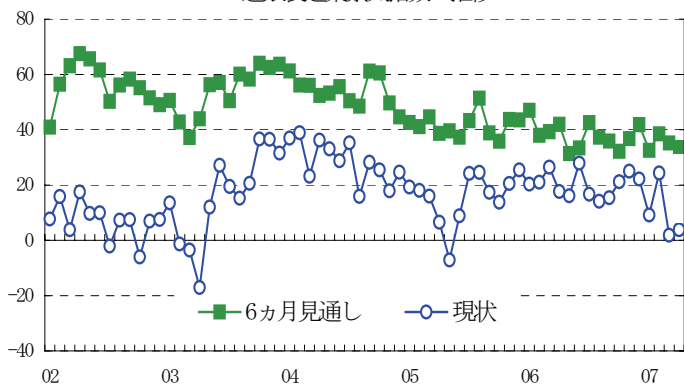
このような中、在庫がゼロとなっており、在庫の積み増しには慎重な姿勢を続けるとみられる。一方で、「週平均就業時間の増加を見込んでいる割合」のプラス幅が上昇したうえに、「雇用者数の増加を見込んでいる割合」が前月から小幅低下にとどまり高い水準を維持したことから、同地区製造業雇用が先行き拡大ペースを速める可能性が高い。

以上のように、先行きの楽観的な見方が強く年後半の持ち直しが見込まれる。

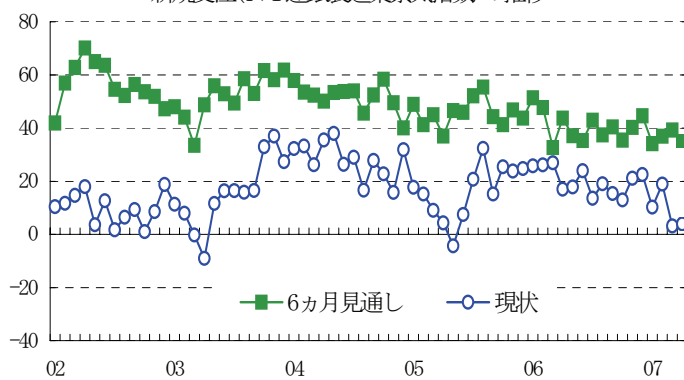
設備投資の堅調を示唆

設備投資計画は27.38と前月の32.56から小幅低下したものの高い水準となっていることから、2007年のNY連銀管轄地区製造業部門での設備投資は堅調さを維持する可能性が高い。ハイテク支出見通しは前月から低下しており、情報化投資の緩やかな拡大を示唆している。

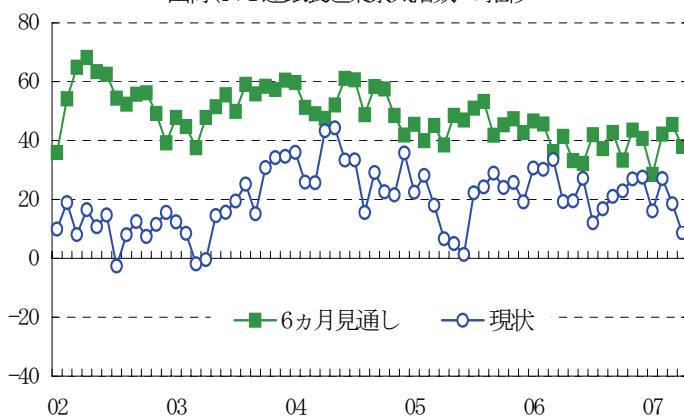
NY連銀製造業景気指数の推移



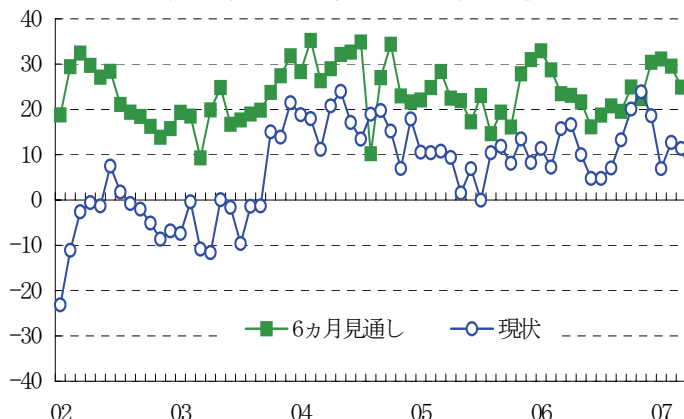
新規受注(NY連銀製造業景気指数)の推移



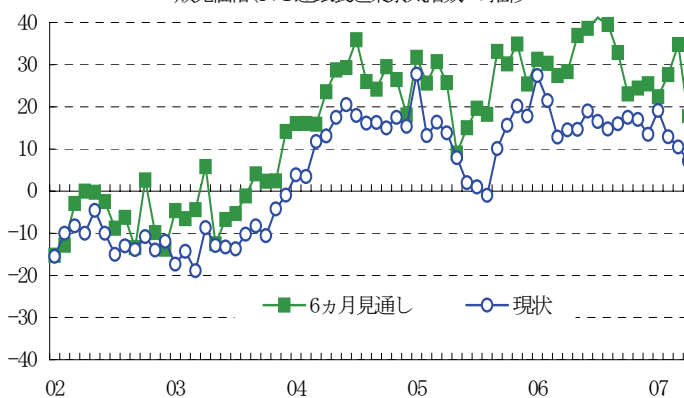
出荷(NY連銀製造業景気指数)の推移



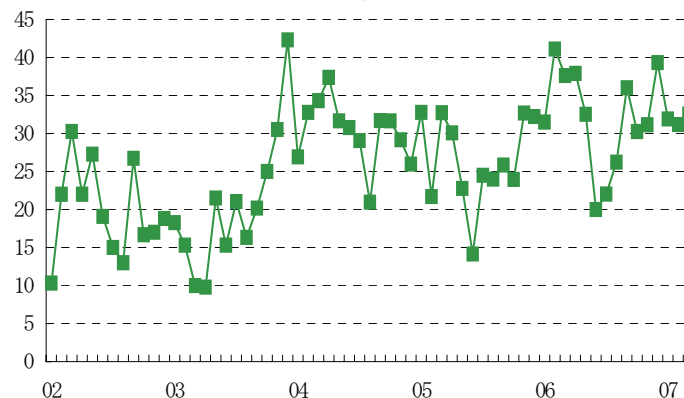
雇用指数(NY連銀製造業景気指数)の推移



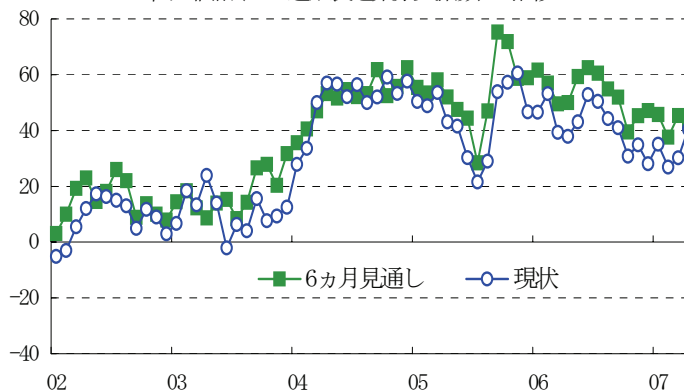
販売価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



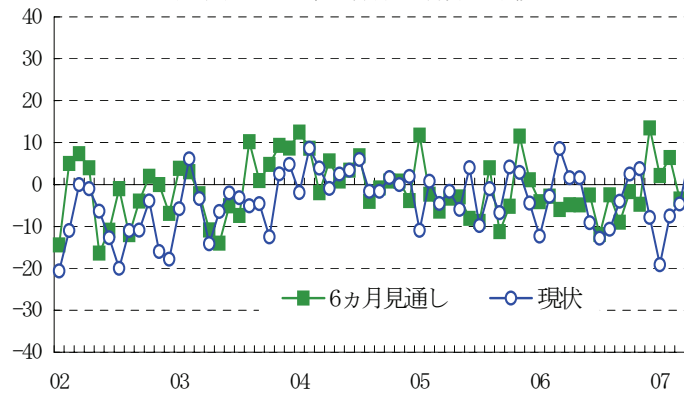
設備投資計画(NY連銀製造業景気指数)の推移



仕入価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



在庫(NY連銀製造業景気指数)の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。